



米国株 MARKET PICK UP



先週の米国株式市場—企業決算受けまちまちな展開—

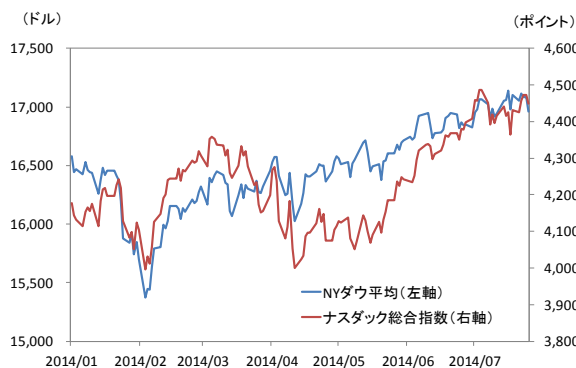
	前週終値	7月21日	7月22日	7月23日	7月24日	7月25日	週間騰落幅	週間騰落率
ダウ平均	17,100.18	17,051.73	17,113.54	17,086.63	17,083.80	16,960.57	-139.61	-0.82%
騰落幅		-48.45	+61.81	-26.91	-2.83	-123.23		
S&P500	1,978.22	1,973.63	1,983.53	1,987.01	1,987.98	1,978.34	+0.12	+0.01%
騰落幅		-4.59	+9.90	+3.48	+0.97	-9.64		
ナスダック総合指数	4,432.15	4,424.70	4,456.02	4,473.70	4,472.11	4,449.56	+17.41	+0.39%
騰落幅		-7.45	+31.32	+17.68	-1.59	-22.55		

＜先週の概況＞

先週の米国株式市場はダウ平均が下落した一方、S&P500 やナスダックは小幅に上昇とまちまちな展開となりました。

ウクライナ問題や中東情勢が一進一退の様相を見せる中、米国企業の4-6月決算発表がピークを迎え、フェイスブック (FB) やアップル (AAPL) などナスダックの主要銘柄は堅調な決算が目立ちました。一方ダウ平均採用銘柄ではキャタピラー (CAT)、ピザ (V)、コカ・コーラ (KO) などが冴えない決算発表で下落しました。

NYダウ平均とナスダック総合指数の推移



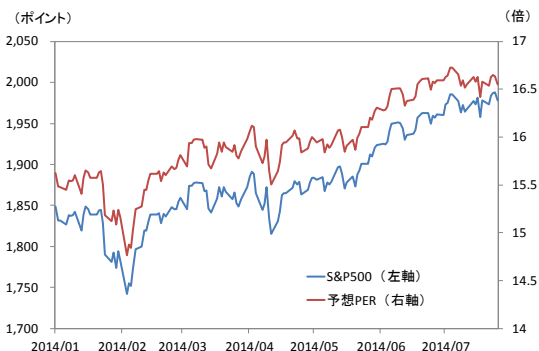
(出所) Bloombergのデータをもとにマネックス証券作成

米国株式市場バリュエーション

指数	予想PER (倍)	PBR (倍)	予想配当利回り
ダウ平均	15.0	2.9	2.3%
S&P500	16.6	2.7	2.0%
ナスダック総合指数	21.5	3.5	1.1%

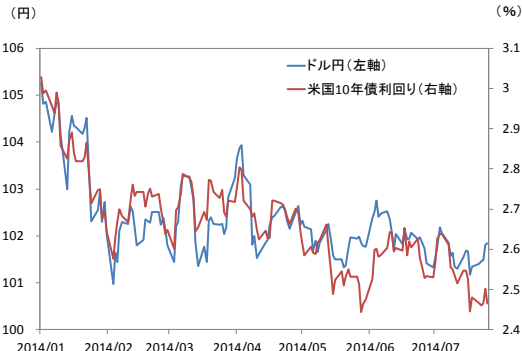
(出所) Bloombergのデータをもとにマネックス証券作成 (2014年7月25日時点)

S&P500と予想PERの推移



(出所) Bloombergのデータをもとにマネックス証券作成

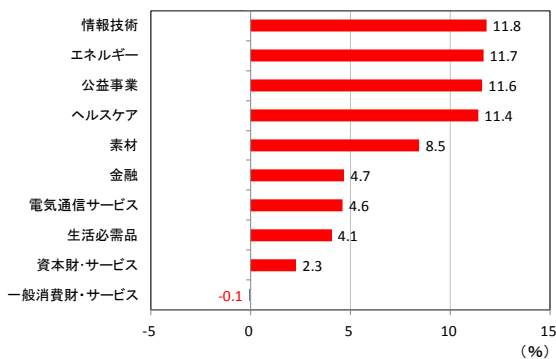
ドル円と米国長期金利の推移



(出所) Bloombergのデータをもとにマネックス証券作成

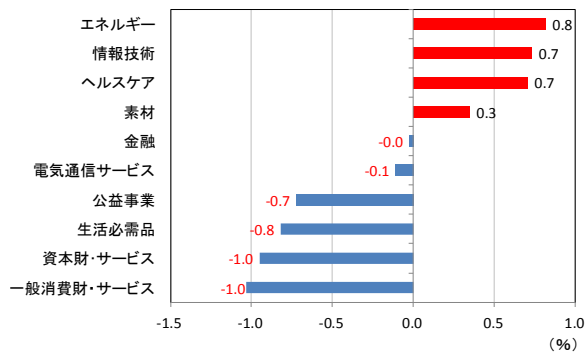
業種別リターン

S&P500 業種別年初来リターン



(出所) Bloombergのデータをもとにマネックス証券作成

S&P500 業種別週間リターン



(出所) Bloombergのデータをもとにマネックス証券作成

ダウ平均採用銘柄 週間騰落率ランキング

値上がり率ランキング(7/21-7/25)

ティッカー	銘柄名	週間騰落率 (%)
CVX	シェブロン	2.4
GS	ゴールドマン・サックス・グループ	2.3
INTC	インテル	1.5
JPM	JPモルガン・チェース・アンド・カンパニー	1.3
HD	ホーム・デポ	1.2
VZ	ベライゾン・コミュニケーションズ	1.0
IBM	IBM	1.0
DIS	ウォルト・ディズニー	0.5
XOM	エクソンモービル	0.4
JNJ	ジョンソン・エンド・ジョンソン	0.3

(出所) マネックス証券作成

値下がり率ランキング(7/21-7/25)

ティッカー	銘柄名	週間騰落率 (%)
CAT	キャタピラー	-4.8
UTX	ユナイテッド・テクノロジーズ	-4.1
BA	ボーイング	-3.5
TRV	トラベラーズ・カンパニー	-3.4
KO	ザ コカ・コーラカンパニー	-3.4
MCD	マクドナルド	-3.3
GE	ゼネラル・エレクトリック	-2.5
V	Visa	-2.5
PFE	ファイザー	-1.8
T	AT&T	-1.7

(出所) マネックス証券作成

<上昇>

ゴールドマン・サックス (GS) や JP モルガン (JPM) など前週に市場予想を上回る良好な決算を発表した金融株が堅調でした。同じく前週に市場予想を大きく上回る決算を発表し、週間で8%上昇したインテル (INTC) は今週も 1.5%の上昇と堅調に推移しました。

<下落>

冴えない決算を発表した各社が売られました。重機大手のキャタピラーは減収増益決算を発表、通期の売上高見通しのレンジを下方修正したことで大きく売られました。クレジットカードのビザも通期の売上高見通しを下方修正し、決算発表の翌日の 25 日には 1 日で 3%以上下落しました。コカ・コーラは北米地域などが低迷し、減収減益決算を発表したことが嫌気されました。

先週発表された主な経済指標

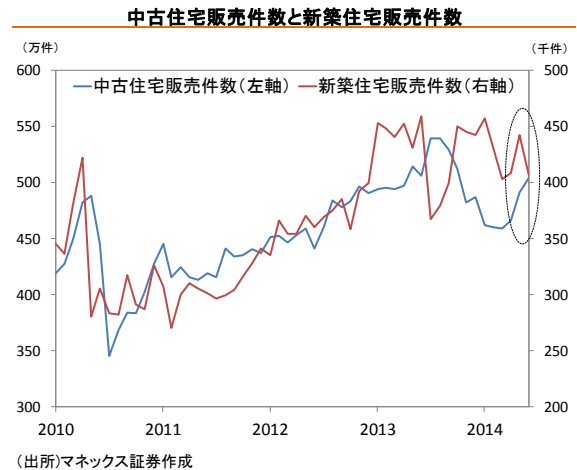
中古住宅販売件数 6月 504 万件 市場予想 499 万件 前月 491 万件 (上方修正)

新築住宅販売件数 6月 40.6 万件 市場予想 47.5 万件 前月 44.2 万件 (下方修正)

※年率換算・季節調整済

6月の中古住宅販売件数は年率換算 504 万件と前月から 2.6%増加し、市場予想 (499 万件) を上回りました。米国住宅市場全体に占める割合の大きい中古住宅の底入れ機運が強まったことは素直に評価して良いでしょう。

一方、6月の新築住宅販売件数は年率換算 40.6 万件と前月から販売件数が大幅に減少し、市場予想を大幅に下回りました。前月分も下方修正され、新築住宅市場は低迷が続いていることが浮き彫りとなりました (グラフ参照)。



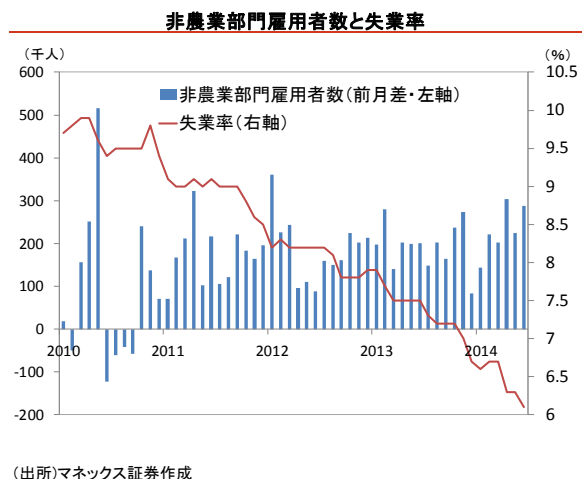
今後発表される主な経済指標

8月1日 非農業部門雇用者数 (前月差) 市場予想 +23.1 万人 前月 +28.8 万人

ISM 製造業景況感指数 市場予想 56.0 前月 55.3

今週は FOMC の開催、GDP 速報値、雇用統計、ISM 製造業景況感指数など極めて重要な経済指標が数多く発表されます。中でも 8 月 1 日は雇用統計、ISM 製造業景況感指数という米国経済指標の中でも最重要と位置づけられる 2 つの指標が同日に発表されるとあって、大きな注目を集めています。

雇用統計については労働市場の先行指標である新規失業保険申請件数が減少傾向を続けていることから、良好な内容が期待されています。また、ISM 製造業景況感指数についてもニューヨーク連銀指数、フィラデルフィア連銀指数などの先行指標が数年ぶりの高い数値を記録していることから、改善が期待されています。



マーケットビュー—今週は相場を大きく動かす重要な経済指標の発表が目白押し—

先週のマーケットビューでは「ウクライナ問題や中東情勢を見極めながらの推移となりそう」と書きましたが、それらの問題が一進一退の推移となったなか、ダウ平均採用銘柄は軟調な決算の企業が目立ち、下落しました。一方、S&P500は小幅ながら上昇して史上最高値を更新しました。

トムソン・ロイター社の7月25日時点の集計によれば、4-6月期のS&P500採用銘柄の4-6月期決算は前年同期比6.5%の増益と、18日時点の5.0%増益から上方修正されました。既に500社中229銘柄の決算発表が行われ、うち69%の企業がアナリスト予想を上回る利益を発表しています。

今週は引き続き決算発表が続くとともに、超重要な経済指標の発表が目白押しです。経済指標欄でも記したように8月1日には雇用統計とISM製造業景況感指数が発表されます。8月1日が大きく注目されるのはもちろんですが、30日にはADP雇用統計、31日にはシカゴ購買部協会景気指数と前述の両指数の先行指標が発表されるため、それらの先行指標を手がかりにマーケットが大きく動く可能性もありそうです。以前から述べている通り、堅調な経済指標+良好な企業決算を受けて米国市場は一段高する可能性が高いと見ています。

フィナンシャル・インテリジェンス部 益嶋 裕

利益相反に関する開示事項

マネックス証券株式会社は、契約に基づき、オリジナルレポートの提供を継続的に行うことに対する対価を契約先証券会社より包括的に得ておりますが、本レポートに対して個別に対価を得ているものではありません。レポート対象企業の選定はマネックス証券が独自の判断に基づき行っているものであり、契約先証券会社を含む第三者からの指定は一切受けておりません。レポート執筆者、並びにマネックス証券と本レポートの対象会社との間には、利益相反の関係はありません。

- ・当社は、本レポートの内容につき、その正確性や完全性について意見を表明し、また保証するものではありません。
- ・記載した情報、予想および判断は有価証券の購入、売却、デリバティブ取引、その他の取引を推奨し、勧誘するものではありません。
- ・過去の実績や予想・意見は、将来の結果を保証するものではありません。
- ・提供する情報等は作成時現在のものであり、今後予告なしに変更又は削除されることがございます。
- ・当社は本レポートの内容に依拠してお客様が取った行動の結果に対し責任を負うものではありません。
- ・投資にかかる最終決定は、お客様ご自身の判断と責任でなさるようお願いいたします。
- ・本レポートの内容に関する一切の権利は当社にありますので、当社の事前の書面による了解なしに転用・複製・配布することはできません。

マネックス証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第165号
 加入協会: 日本証券業協会、一般社団法人 金融先物取引業協会、
 一般社団法人 日本投資顧問業